

志しやのわざ

おどろくよ、されまくのあそとつくりて、あすのを  
くともやめーとせよりよそのえいがくるかーゆうぢよ  
みくよ やりてめりと のち うへよ あげられひるひ  
あらよ そのおこあひー とそく きへへー とそくの ことと ま  
あらせり。 えすへくよーと うけとのちおこうの かへり ある  
ああうと もりて あいやうちよ おのれの ひきくる ことと あ  
しめり あだう おひど かれとよ まくと かまの あり  
ごとの ことと あらり あらへり。 まあ かれとと とゆよ あらり  
あらめり ト けり、 あらむと ある さむむと あられすと されよ  
きける ところの ちの あらむと あらあひー ことと あらべ。  
そり よはねら まくよ おりて あらめと あらめめ、 されど あらむ  
とれ そののち ひきへうと うちよ かまの みくよ わりと  
あらめめべー。

<sup>6</sup> われとありありをるとき 無すとひけり、まみよ、あ  
さりありありとをいたへるよゆくらんとする。<sup>7</sup> 無す  
われとよりひけり、ちのそのちうふとさざめくおふとこ  
ろのときあるおおなれあるぢうのあるべきもあらず。<sup>8</sup> われと  
きよきみよあおぢうのぞむときあるぢうちうふと  
あるきむ、ゆだやぢう、さまりあねまび ちのもとよあで  
あり一びともあるべ。<sup>9</sup> このこととりひをもりてわれと  
あるうちよ 無すうふとあげられ、くわこれとうけてくらきを  
しめり。<sup>10</sup> そののがとときのれとてんとあがえまうりしよ  
みる、あうきこうとどきするあさりのひとわれとのめくをとよ  
くらそりひけり、<sup>11</sup> がまういのひとびとよ、あわゆゑとてんと  
ああぎてくら。あるぢうとまれててんとあげられ、この  
ゑすれあるぢうぢうわれててんのがとくとくあるその  
さすよおのとまくとん。

<sup>12</sup> つりよあーやはらかんらんさんとりへるやうありあるさまむよ

わくれり。このやうれりあるさまむよちうふとおおをあんをく  
あらよゆきうるみちのりあり。<sup>13</sup> われとりくりと、べてる、よはね、  
やこが、あんでれ、おとほ、とま、ほるどろまい、まりたい、あらをいの  
むすおやこが、せろてとりあおん、あら、やとがのきゆうじのある  
ゆだの、すむとどうのあうじよのがれり。<sup>14</sup> われとまみをるあどゆ  
ねうび、ゑすのはしまりああくゑすのきやうぶのうりととあよ  
こくうとあをせつづりてりのりとつとめり。

<sup>15</sup> そのころありおれるものとめまくおよをひゆくあとうふん  
ありしげ、べてる、きやうきりくらのあらよくらと、りひけり、  
<sup>16</sup> きやうきりどよ、ゑすととくくらのものと、あるあひとゆと  
あり、ゆだとまくしてきよきくらおだびてのくちよよりとあとう  
ドめりひくとくらのせのくらのこととくらのあひとゆおうずべう  
りりあり。<sup>17</sup> そのゆだれとまくとつとめりととよよこのつとめを  
うけられが、あり。<sup>18</sup> そのひとつ、あぎのあうりと、ゆれをぢくと  
ゆをせり、あく、まうさまよおち、もと、さきて、そのもとをく

ことごとくあぐれりでござり。<sup>19</sup> このことあることをむすめるすべ  
の ものはあねへうべ そのぢへうべ くわくとをもて あけらだま  
すあそち ものぢへうと あげけられり。<sup>20</sup> それ おの あきよ、  
われの すみらへ あれをと させよ、されをゆ これよ すゑをする  
あらねと・あく、われの つとめひとよ うけさせふと あらきれ  
きり。<sup>21</sup> そのゆゑよ あす これとのうちよ ゆきこへうる あひと  
すあそち よはねの あげめ あり そじめ あすの これとと あられて  
あけられ ひよ ひよ あす まで <sup>22</sup> つねよ これとと とゆよ あり  
ものうちよりひどりされとと とゆよ その よみぐへり ことの  
あらげとも あるべきあり。<sup>23</sup> こゝよ おりて はるさほとりくる  
よせあ、ゆせとと あげく むの ねすび まりて あの あらりとあはそ  
りめり ひひ けり、<sup>24</sup> すぐその もの こゝうと あり さかの  
まよ、ゆだんおのれの とくよ ゆく やくよ その やくめすあ  
もちあいやの つとめ あり がくくへうねば <sup>25</sup> この ふたりのうち  
りうれよ その つとめと えきせんとと えくび くわくへうめり

うすん。<sup>26</sup> さて うどと とりしよ まりて あよ あらり ければ かれ  
あらりち あふの あしやと とゆよ つとめり。

## 第二章

うど あらり あらりの ひよ あらりと われと みあひと  
とくよ あらり ひりへよ。<sup>2</sup> からまち つまく あく ねううせの  
ひとき わと てん より くどうりて その ざすよ とくよ の ひくらうよ  
みうり。<sup>3</sup> さて ほの おの ひときへよ あくもれ えうれと おの お  
の みうくよ とくよ みうれと みくまき みくまよ  
みうれと みくまの ひくらう ひとくよ くわぐかの ことと  
ゆのと ひくらう とくめり。

<sup>5</sup> その ひと てんぐの くわぐか あり きうれる あふだん ある  
ゆだやびと ある こむよ とくよ あり きうれる あふだん ある  
あり おあくの ひとびと あらおり、おの おの おの くわくとをと  
もりと われとの くわぐかと きくと きくと あへり。 われと みあ  
おどろき あやーと ひひ けり、 みよ、 この くわぐか ものひ みあ  
がりうひとよ あと 余や。 <sup>8</sup> これと おの おの おの おの むすれとと

○志一のわが身 11 おやう 2

五百

うのくわことをとめて、めねとうが、ゆるとまくらいりうどをや。 9  
「これくらはるてあびと、めであびと、えうむびと、おあびめそほた  
みあ、ゆだや、めほどきあ、ほんと、あああ、10あるきあ、はむふ里あ、えおぶと、  
あるきびあのくわ、くれぬのうとりよすめるもの、あるくろまよりの  
くびと、あらひくわだやびとあるひのそのを、11よりりーもの、  
あくべれてびとあらびあびとあるよ、11めねとうが、これとうのくわこと  
をとめりてかみのねうひある、12めくをめくらるを、きく。 12ひと  
ひととくわゆくねどうきのあらりと、さくひよのひけり、こり  
あわのこもうちをや。 13あるひととあざけりと、めねくらあわき  
ふどう一ゆまくわくわくらるありとりぐり。

14 さて べての おうのち あると ともよ まわる こゑを あけて やれ  
ともりひけり、ゆだやのひとびと ある すべし ある さきむよ とも  
ある ゆのよ、あらぢよ こぢ ことひを さかそ ころねを あれ。15 これ  
ゆのどきに あるぢよ おゆみ じとく よふ さくよ あとす。りあん  
ひのの ぐら ながめどか あり。16 されど それ あげる やよえらよ

17 すきをもつてからりひきをあそぶ、  
すきのときよりうりてこれにさくみくあそびたまなよ。 18 さく  
さくがん、あんちどむすおむすめいよほなすべー、あんちどむ  
さくさくものにまがうとそ、おひくらむわいゆめとそん。 19 され  
そのときさくがんもんでるもめみくおとくさくさくさくがん、めれ  
とくよけんすべー。 20 されうくのてんよあーぎのこと、あさの  
ちよあさの、すきをもちあと、ひと、けむりのくもととあとをもさん。  
21 きみのねあひあるのちうづきひのまくらざるまくまよひん  
のもりそくそくあり、つまんぬもりそものごとくあとん、  
すぐそきみのあそびうのむものにすくもれふと。  
22 いたのえのひとびとよ、このことときけ、おざれのゑすれ  
あんちどむすきをとくかとくめねよよりをあんちどむのうちよ  
あせーちりとのさくがんとふとぎとくもくとゆのをあんちどむ  
あくしーとくのひとあり。 23 めれいわきみのさくめくら  
むねとあくうづめありまよめあくとくうよめあくをさくさくれふ

あんぢうへ むもかの ものと てよ よりて これと そりつけよーと  
こうせり。<sup>24</sup> されど かと その あの くろーと とまと これと よみ  
ぐくへ まおくり。 われど あよ つあがれ そくへ あくをせりー  
こと あねば あり。<sup>25</sup> そひだびで あすのことよ つひと りぐり、 これ  
かみの つねよ こぐ あくよ おりあすと まら。 われ こぐ みぎよ おりあす  
ゆゑよ これ あるを せざるべー。<sup>26</sup> これよ よりて こぐ こううい  
ようそび、 こぐ こううい ようそびと せれせり。 われ こぐ ふくうい  
のぞみよ やすすん。<sup>27</sup> これ ああくへ こぐ まおーひと よみよ すと  
おうす、 ああくの かくか ものと くちきく、 ゆふよ よりて あり,  
<sup>28</sup> ああくへ いのちの みちと これよ あめせり、 おんううと あくを  
一そくねと あわそびよ みくーめんと。

<sup>29</sup> さくやうざりよ、 これ そくうと せんぞだびでよ つひと あんぢ  
くよ あくの ざき あり。 われ あーと まうむれり、 その もうへ  
こふよぢよ いかる あそ こねと の うちよ あり。<sup>30</sup> われ よけん  
しゆよーと かと かれと ちうひと まくと その こーの あそぶの

うちの ひとりと その くよみよ つうーめんと ちうひ くあくよと  
あり、<sup>31</sup> わく あくうじめ この ことと まとりきりすとの ふみぐく  
りよ つひと、 われ あみよ すと ねうれす、 その ふくうい もくち  
すと りぐり。<sup>32</sup> かみへ こ の あすと あみぐくへ せ まおくり、 かれ  
とく みあ そ の あうーびと あり。<sup>33</sup> これよ よりて かれへ かみの  
みぎよ あがくれ、 わく ちの やくそく あくをひくら あくをき みく  
おと うけと りあ あんぢうぶ みぎく する とくうの ものと くさ  
そくびり。<sup>34</sup> だびで てんよ の がりー こと あー、 かれと みぐうと  
りぐり、 きと こぐ きと よりひ けぐれ、<sup>35</sup> これ あんぢの てきと  
あんぢの あーざりと あす あそ こぐ みぎよ ざせよと。<sup>36</sup> これよ  
おれと いを うえの りぐうよ、 かみへ あんぢうぶ そくうけ  
おし うる この あすと かみと 一そくすと まくと あくと ことと まくと  
あるべー。

<sup>37</sup> われと これと かと こくう かくう かくう じとく ありて べてろと  
わくの おー や う まよりひ けぐれ、 おやう まよ ふよ、 こねと ああと

あすべき。 <sup>38</sup> べておこなへけり、あんぢとおののくひ  
 あんじめてつみのゆゑよをすきりすとのあよおりをあら  
 めとうけよ。 <sup>39</sup> さうべまかみみる所あるとおもひをうくづ。  
 りうふとあねばこのやうなうへあんぢとおよびあんぢとの  
 おをんあるすげそのとおきゆのすあもちけれとのわとある  
 きみのめーとあふところのひとびとをぞうす。 <sup>40</sup> あさづりよおお  
 くのこととをめりてあーりをあーりすまめて、あんぢとこの  
 すくーあるおよりみづくとすくととりへり。 <sup>41</sup>  
 こくよおりてめれとそのことをとうけをあらめをうけり。  
 このひくをくされしものへねまきんせんあんありき。 <sup>42</sup> めれ  
 とくつねよあーやうちのをーんとうけ、あるあひあトすること、  
 はるとおもこと、りのることとつとあります。 <sup>43</sup> さておそれすば  
 そのもあくこくよあやうす、めれおもろのあしきとおもく  
 あーやくちよおゆておももれり。 <sup>44</sup> おんするひとびとへとお  
 とゆよありてすげそのゆれととゆよー <sup>45</sup> あるあんぢるとゆる

ゆれをうりとおののきようよあらぐひこれとだけあくへり。  
<sup>46</sup> ひどくうとあをせとみゆよそりあーりくのくよおりと  
 はんとさきめりおうとびとあごうとめりとおふくととゆ  
 よー、 <sup>47</sup> めれかくとおめ、すげそのたまよおうとおれり。さき  
 すくひとえくるゆのとひどめれとよくせんとおへり。  
 さくくどきするをもちのりのとまよべておとよはねみゆよ  
 のおれり。 <sup>2</sup> ひとりほのうりありありあーきんあるものあり  
 けりひどひとよおもれとみゆよりるゆのよやどくとねぐ  
 さんじめよみやのうつくおとりくるゆんよおれり。 <sup>3</sup> めれ  
 べておとよはねのみやのうつくおとりくるゆんよおれり。 <sup>4</sup> めれ  
 ぐり。 <sup>4</sup> べておよはねとつとくとそれとこそわどくとねぐ  
 ととみよ。 <sup>5</sup> めれゆとりむねあんじとおもひとめれとみうめ  
 きり。 <sup>6</sup> べておりひけり、まんぎんべおれよあー、まーある  
 ところのゆれとあんぢよあくへん、おざれのあすなりすとのあよ  
 ありさうとあゆめ。 <sup>7</sup> つゆよそのみぎのてととりとこれを

おとー けれど その あーと あーうび とくちよ つまく ありて、  
おどり うち やう あゆめり。 <sup>8</sup> やく あゆ おどり かみ と わめり  
やねと とも みやよ りれり。 <sup>9</sup> ひとびと みみ その あゆ みそ  
かみ と わめると、 <sup>10</sup> され わどこし とねぐふ ふめよ みやの うつ  
おき もみよ ざせ もの あると ありと やね あり ことと おお  
ひよ おどろき あやめり。

<sup>11</sup> やれ べてろと よはねよ すぐり きり あひ とよ ひとびと みそ  
おおひよ おどろき 一ヶ そろもんの うとうと いくる やね との おる  
とくちよ のけ あく あれり。 <sup>12</sup> べてろ これ と みて たまよ めくり いひ  
けめ、 いそ うえの ひとびとよ、 あんぞ ころと あやめり。 やれ  
トゲ やれの ちくと よとくよ よの と その ひとと あゆ おせ 一ヶ  
じとく あんぞ なれ とよ つまく。 <sup>13</sup> あがはむの かみ、 いきくの  
かみ、 やこおのかみ、 これとの せんぞくらの かみ その あゑす  
すあそち あんぞ 一ヶ とく 一ヶ ひふと と げの みまくと せなめくら  
と ま その あくよ おりと こむくと とくの ものと あぐめ くす

へり。 <sup>14</sup> あんぞ おと おとよき もの おとよき ものと こむくと ひとと  
こくへく ゆのと あんぞ あく くじれん ことと ゆとめり、  
やれ いのちの きみと こくせり。 されど かみ これと あより  
よみ ぐくと せ くあく。 されど その あーう びと あり。 <sup>16</sup> あすの  
あと あんぞ くよ おとと その あ あんぞ うる とくら あら とく  
うの ひとと すく ゆう やせり。 やく あすよ おれる あんぞ  
あんぞ すばら うの ゆのと あくよ おりと これと あり くみり やせり。  
<sup>17</sup> おと やう うりよ、 やれ あんぞ う おとあひー とくの ことと  
あと うぞ うよ ありと あると ある。 あんぞ うの つう まく うら ゆ ある  
あうり。 <sup>18</sup> されど かみ その ゆう ゆうの うばか 一 やの くわよ おとと  
かりすと くく くくと うけんと あく うじめ あめ くくと ことと  
やく と げ きせ くあく。 <sup>19</sup> その ゆゑよ あんぞ うひと あんぞ  
うの つみと け くふ やうよ こくうと あく くめよ。 おと あく く  
むの とき かみの あく あり くみとん、 <sup>20</sup> やく あく うとめ あんぞ  
との くめよ おと あく くみと ある あすと おく くす

そん。<sup>21</sup> かみのりよりへよりそのまよきよげんとやうちのうちよりそりひよりのあくまほんときあぐらでん  
われをうそべきあり。<sup>22</sup> もうせりひことあり、りそく、已れ  
とかあるきとあるぢとのきやうぢのうちよりこれよ  
あるひとりのよけふしやをねこくさすもん、あふどとすても  
われがあんぢよりふところのことにこれとまくべ。<sup>23</sup> すぐそ  
そのよけふしやよまくちあらがをぐるものにたまのうちより  
あらがくらべと。<sup>24</sup> あくさむえるよりこのめりふところの  
すぐそよけふしやのちそんあり、めりかとせんとせんぞくちと  
うるところのやうそくすあともちはんくのひとびとあるぢの  
すゑよよりてさりそひとえんとあがらはむよりひさむひしやく  
そくをうけつぐものあり。<sup>25</sup> かみにそのあとあけ、あんぢと  
おの初のとあくよりひきゆくとまくそひとえんとめま  
あくわをあんぢよりつらをせり。

**第四章**  
われとびひとびとよやうれるときまくじとども、みやもり  
うらとねよびとめいびとめいよきより、そのだまとまく  
のらをすのことよつりとあよりのよみぐらりとのあることを  
うれひ、つらよとつけとこれととく。ときすくよくれ  
けれどあくらひまでこれをろくよりれおけり。<sup>1</sup> からねども  
ことをとまくのねやくこれとあんせり。あんトゆのゆすれ  
「ねよみ」させんさんあり。

あくらひよありとつらよくらち、とくより、あよやく、<sup>2</sup> ねよび  
きりのをとあんか、あよめやや、よはね、あきせさんてるとさく  
のをきのすぐそめあんるやあぬきむよおりとありあり、  
あくらひのあくやとあくよきととひけり、あんぢとああ  
けん、ああめあよよりてこれとおとめひのり。<sup>3</sup> そのときべてろ  
きよきみよよみよみよれとれとよりひけり、たまのつらよ  
ねよびとくよりどくよ、<sup>4</sup> これとよびようあんよおとめひのり  
あきよとよつまこのひとりりくよてりやきれいとこくよち

かねばれあべ 10 あんぢんと いせじえの たと まみ これを見る  
べー、あんぢん そりつけよと かみの よみぐんとせ まおひかる  
あざれの あす きりすと、その あよ すけと この ひとへりゆくられを  
こゑよ あんぢんの あくよ さとり。11 これ すあもあんぢんと いく  
くくりよ すくとれー とくろの いりくの すみの ねやうーとあり  
する ものあり。12 この あくよ すくひ ある こと あー・そん てんの  
あく、あんげんの うちよ、されど あり ふの みそ すくまる づき  
わらの あそ ふまを ざれべ あり。

13 われと ペトロと よはねの ざくさん あると み、その むぐく  
あみの ひと あくと ありと これを あやーめり。あく その ゆうそ  
あすと ともよ ありー ことと がとれり。14 わり りゆくられ ひとの  
われと とくよ さくと みて これを いりけす べき ことを ぞ  
えざりき。15 こゑよ わりと われと めりどと ひやうぢやうおよ  
おり ひぢーめ、あひ そりと いりけす、16 われと よあくと あす  
べや。われと ひちドウーと あーぎの ひびと おとあひー ことと

すげて ある 三毛むよ すめらる むのよ あかくへよ あれり、  
かれと いりけす こと あらむ。17 あうれども その ことの むちや  
たまの うちよ ひうぐと きる やう われと おびやうーと この のち  
その あよ おりと ひとよ みる こと あくとーめん。18 つりよ われ  
と おびと あすの あよ つりと すくーと わくら こと きーゆる  
ことと あす あうれと いりあーめり。19 ペトロ よはね こくくと のひ  
けす、かみよ きく おり わんぢんよ きくら、かみの あくよ  
おりと さくーおう あんぢんと いじうと ざくめよ。20 われと みー  
ところ、きくーと うの ことへり と きくと と とす。21 ひとびと その  
ありー ことの あめよ かみを わめられべ つうがくど わたと ねを  
れそ われと がくすよ あく、あや これと おびやうーと  
ゆくせり。22 この あーぎ ある ひびよ すけと いりゆくられ ひとへ  
あト いきり あ ありあり き。

23 われと ゆくまわーう が その とくの ゆとよ の かと だりきりーと  
と あふりど わの りのー ことと ことじと つまうり。24 われと

これをきよしくこころとあそをかきよむらひこゑをあけそりひ  
けりん、おやうしりよ、ああうんちんとちとうそとそのうちの  
をふもうとつくりまわりするものあり。<sup>25</sup> めりてああうの  
をゆべたびてのうちよよりてりひまわり、ああゆゑよりとん  
さをぎくち、たまんむるーきことをもうまう。<sup>26</sup> せうりのこす  
くちんおどり、つらうどゆんかみねうびそのまうすとよまう  
トあそあわれりと。<sup>27</sup> まなーとへろて、ほんてよびふと、りん  
およびいせらえのたまんああうのあがとをそとぎくまくま  
ああすよさうじかてこのみやくよあわれり。これおこきを  
みやうよ<sup>28</sup> ああうのちああうのむねすとあとうとめさがめ  
さすりーこじとあせらあり。<sup>29</sup> まなよ、りあめねとのおびやう  
ーをみこまん、めりああうのちゆべどゆよどりくふをゆくと  
みくとむのぶることをえさせ、<sup>30</sup> あこりやすくめよねふとを  
のべ、ああうのまよかああすのあよよりとあまーとあーぎを  
おこあせさすへ。

<sup>31</sup> いのりをもりーとゆそのあくあれるとうあくまれ、みあ  
きよみくまよそくされあとだりさんとゆいてかみのことをと  
のぐうり。<sup>32</sup> おあせりのあんじやんこころとひとりよー、おゆひと  
ひとりよーとひとりよそのゆくらゆはとおのぐゆはといと、  
みあすげのゆはととゆせり。<sup>33</sup> おーやまちおあひあるぢう  
とゆのとまくまくのよきぐくりのあーとあー、みあおあひ  
あるめぐらとゆむれり。<sup>34</sup> めれとのうちよあげーきのあー。  
りうふとあれでてんぢあるひんりへあるゆのんこれとうりと  
そのうりうるもよーざくうともちようりて<sup>35</sup> あーゆくらのあー  
もとよおきおのゆのいりあうだけこれとだけ、あくられ代  
あり。船びのぞくよくぶよううまれるよせおとりふもの  
あり、おーやまちこれとぼるあばすあもとけばあぐくみのあと  
あぐく。そのひとでんぢあり、これとうりそのゆのをもち  
きくりとあーゆまちのあーゆとよおけり。

ひととよあんぐりと うり、つまむどうりと そのがりうの  
りくふうと つへーりくふうと むち まうりと おーやうらの  
あーゆとよおせうり。ペビカリひけり、ああにあよ、ああゆゑよ  
あんぐのこもろ せたふよ みかされと かくみみよりくもりと  
りひ、ぢめんの がりうのりくふうと かくすひととせーり。りあざ  
うしがるときとあんぐの わせよあとせや。すぐよ うとと その  
がりうれあんぐの けふよ ぞくすよあとせや。あんぐれ ひとと その  
ことと こもろと くもせーり。あんぐれ ひとと むりひと りう  
じくよあとせ、かきよむりひと りうひと りくらあり。ああにあ  
うれとのこととを かく うふれと うかくめうり。おうひあるおきれ  
すびて これと かく ゆかと うとうよ おやうす。つりよ うき  
ゆのども うかくと これと つまみ、ゆき うかくと あうむりくり。  
おふを まんじくえん すがーこう そのつま ありー ひとと あとせ  
ーと うり まうれり。ペビカ これと うひ けり、あんぐ  
トゲ でんぐれ うりー あんぐれ これ わと あるく、なれよ つけよ。

のれりひけり、あうり、これ わと あり。ペビカ ひひけり、  
あんぐと ともよそうりと まみの みまを こもくまくと あんぐや。  
まよ、あんぐの せりと あうむりくらの わと あーへ すびよ ゆふう  
ちうげり、あー あんぐと うひ うかく あーへ すびよ ゆふう  
そのあーゆとよ うふれと うかく うかく。まうき ゆかども うかく  
そのすびよ まーうかく ま こねと うかく うかく せりと の めく  
めと うかく うれり。11 おあひ あら おそれ まやうくのりの ひと  
ひと および すびと これと かく ゆかと こもろよ おやうす。  
12 あー やうらの てまよのと あーぎと あーぎと おあく  
たまの うらよ おとみわうり。おれとく ま こもろと ひどうる  
と そろもんの うううよ あり。13 わうの ゆのん あくと これよ  
つうがりの。されど たまん おれと うやあく。14 あんよると  
あんずる ゆの あすすす おあく まみの ゆよ くもくと うかく。  
15 ゆくと ひとびと あれる ゆのと うやよ うげくと かく うかく  
ねぐら ふとんの うへよ おけり。そん ペビカ とある と その わ

○おへやのわざ まい五 おやう う

五百十六

あるからそれらを おもとめことのぞみを あり。  
りのむとむと より おもとの ひとつびと やある むの おもび あけ  
うのあくすよ あゆきさわらる ゆのと さげまくを あるさせむよ まへ  
り一ヶ 三本 ひやさわなり。

1 こちよおひをさりしをせめめめめめめめめめめめめめめめめめめ  
2 もちよどめいあうのともぐとまめめめめめめめめめめめめめめめ  
3 もーやなみよつけてこねをあみのらうよりれより。19 もうもよ  
4 カミのつくりよるらうよのとひひとのねとつねつねつね  
5 りひけめ、20 ゆきとみゆようちこのりのちのみことせること  
6 だとくたまよめられ。もーやなめらこねをまよあけぐみやよ  
7 りりてモーへり。

らうやまきり一うべ めぐりて つけひけむ。 23 らうやめ  
のまくとぢらうがまゆとのまよまくと ひかれて まく、あら  
まよひとけび うちよひとりをも まく。 24 みやおりおよびだり  
さり一どもこのこととをと まくと、こりうよありゆくべまくと  
これまつりと うなげく。 25 あるひときたりを わねじまつけりひ  
けめく、こよ、あらぢトグらうやまくわおまーとこうの もめい  
りあみやまくちとたまよをへきる。 26 さてみやおりあみや  
こととあよゆまくとめねじとつれまくねり、されどであはせらとと  
せせりき。 そんりーまくとたまようくねんことをおそれてあり。  
すばまゆれととつれまくねりこれとひようぎやくのあくまくと  
さりーのをとられよふじねりく、 28 これとこのあよおりと  
せーのうあうれとまびーくあらぢトよきふせり。 されどあらぢ  
うれこのをとくをおるまきむよ まくせ、ゆくそのひとのちと  
けめく、ひねよひとよあらぢとありのからよあらぢと づき

○おーやのわざ ざい五 あやう 5

五百十八

あり。<sup>30</sup> これらとのせんぞのかまくら あんぢうとげ きよめけて こうり  
うる 無すと よみがへとせ へあへり。<sup>31</sup> かまくら いせらえきの たまよ  
くら あとくらめと つみの ゆうべと あまくらめ くめよ これと まき  
とく すくらめーとーと おのれの 三ぎよ あげ ふあへり。<sup>32</sup> これら  
のれの くめよ ここの ことの あうーひとあり。 かまくら おのれよ  
あまくらむ ものどもよ まきよ とくらの まきよ まきよ まきよ ある  
と あす もの あり。

<sup>33</sup> のれと これを まき こまうと まきーと あきよれて おーやまうを  
ううきふと そらなり。<sup>34</sup> こまよ おりと ちまきいびと うて すべの  
たまよ うわと ある きやうむくー がまえむと うくらのひよう  
ぎの あうよ くま、めりドを あー やくまを あおぐく そとよ うくら  
ーめ、<sup>35</sup> のち めねじよ りの けく、いせらえきの ひとびとよ。  
あんぢうじう この ものどもよ あまくらと する とくらの ことを まく  
くつまーむ べ。 <sup>36</sup> それ まきの ひ てゆだ おこり まくらうとを  
おあひ ある ものとーと あきより。 これよ つく ものくら のを おふそ  
と あす ものと あきより。

あひやく あん ありけうけ われへ ころくわねり、あー これよ あまう  
ひー だけの ものへ まあ ちくさねて あと あまよ うなれり。<sup>37</sup> その  
のち ひとつと あんぐりよ のする とき がまくいの ゆだ おどり  
たまと うざあかと おのれよ あまぐを せくら。 つけむ わうび こねよ  
あまくらー だけの ものむ まか ちくさねり。 <sup>38</sup> いま され あふ  
ちトよ つけん、この ひとつと とあきけと これを すと おけ。  
ゆー その そらる とくろ あすと くら ひと あり いぐあべ のあとす  
あと あまよ うなれん。<sup>39</sup> されど キー かみ より いぐあべ あんぢう  
のれじと うなす こと あまよす。 おきとくら あんぢうと かまよ まく  
と あと まくらふ ものと あとん。

<sup>40</sup> めねと こねよ あまぐひ つりよ あー やくと あと おびと むらうち  
ゑすの あよ おりと みくら あうねと めりドと こねと ゆくせり。  
<sup>41</sup> さて のれと その あの くめよ まくらー めと うくらよ くら ものと  
せくらー ゆゑよ ようとびて ひまくら まくらの あへ より いぐあべ ゆく  
くら。 <sup>42</sup> こまよ おりと ひぐみや あまくらくらへよ ありと そーへ

めり キリすと ある 無手のこととのべを やめざり。

**第十六章** その ころ でーうちの め手 ますあす おあく ありー とき

ぎりああ ことの ゆだわびと その やもめど もうひつぶやく こと ありければ、  
もトさねー のあよへがひとよ むらひつぶやく こと ありければ、  
2 あうの おーや でーうちの おやせりと よび あひめて りひ  
けめ、されと かきの ことを もあれとの みうりの ことよ つらふ  
らん ようーうトキ。 3 ねあま きやうざりよ・よき きくえ ありて  
みくちと ちあの みうら ものと あらあん あらぢとの うち あり  
えトむべー。されと これと くそと この ことを つらふとせえ。  
4 されと つねよ りの ことく みことの ある ことを つと  
めん。 5 この ことを すぐその わのよ ようと され つりよ あらうと  
きよきみくちの みうら ひと ある せて せれ、あく せほ・ぶろころ、  
にめのる、て もん、はるめあ おふびゆだわきやうよりりー あんて おきあ  
のに こトを えとび、 6 これと あーやうらの あくよ くそーうじ  
われとりわりと てと その うくよ ねけり。 7 カきの そーん ます

あす ひうなり でーうちの め手 ある ことを むよ おやのよ あゑて おや  
うの さくー も あらうの みちよ あらぐへり。

8 せて せしめぐらと ちうとよ みちて あーぎの きざと おあひ  
ある あらーと たまの うちよ おらあく。 9 さて せべる そんと  
りくら うらり ひとの ひと あく くれねと あききさんでりあひの ひと、  
おあひ せきあひと あああひとの ある もの おこりて せて せれと  
りひ あすを。 10 さねど われと その りふと ところの ちあと みす  
あよ て あす こと あすを。 11 つりよ ひとを ひきりれて、 され  
じん かれど もうせと めうとを けげす ことを けぐると まけりと  
りもせざり。 12 こくよ おりて たまと とーより および あよやくと  
もと あす と うせん ひづりて せて せれと とく これと ひやう  
ぎよ つれ まくら、 13 りつむりの あようと あふと まくら いもせ  
けめ、 その ひとと ここの まくら と ところと おまくと けげす ことを  
りひて やめす。 14 めの あざれの あす ここの ところと からがー めく  
もうせの さねどよ さげけー ところの あトモーと めくらと かれ

りくふと らねと きけり。<sup>15</sup> その とき ひやうぎの うちよ ざせる  
もの まみ おとせれよ めど とめと、その めの てんの つうひの  
めの の ごとく ありと そぞり。

## 第七章

さりーの おさりひけり、これとの こと めの の ごとく  
あらう。<sup>2</sup> 走て せれりひけり、まやうざりよ、これを  
さく べー。これとの せんぞ あぶらはむめらんよ すせ まんめ せほた  
みあよ せら とき えりうの かと あれよ あと それと ひひ さす  
くり、<sup>3</sup> あらぢ あらぢと そり あらぢと そも あらぢと ひひ あら  
ぢよ あらぢと する ところの ちよ ゆけと。<sup>4</sup> さて あぶらはむ  
めの だいの ちとり で せらんよ すめり。その ちと あまとの ちかと  
これとの 一と おり うりと あらぢと ひひ すむ ところの こ  
ちよ ひひトー あり。<sup>5</sup> されど その ちよ あらぢの とととーと  
あーと さうる わどの とととを も あらぢ、ひひ その ひあじ あ  
あトさりーよ この ちと あれと その あらぢよ さかかーひひ さめよ  
これと あらぢと あらぢと あらぢと あらぢと あらぢと あらぢと  
かと ひひの ごとく

りひ さすへり、あれの あらぢ さくさよ やととん、その くわの  
ひとひと あれと どれりと あーと あひやくねふの ありと これと  
くるーあんと。<sup>7</sup> かと あー ひひ さすへり、これの あれと どれりと  
する ととろの くわひと さすへん、のち あれと ひひ その とと  
うよ おりと さねよ つうふ べーと。<sup>8</sup> あー あぶらはむよ ひうれりの  
やうれりと さすへり。めうと ひひと うみーと まやうらめよ  
これよ ひうれりと おこあへり。ひさく やこぶと うみ、やこぶあう  
あの せんぞ さすへりと うめり。<sup>9</sup> せんぞ あらぢ よせふと ねくまと これと  
えおぶと よ うれり。<sup>10</sup> されど かと あれと とめよ あり あれと す  
ひと その もう もうの くるーみの うちより ひひー、めう えおぶと  
ひひ おの の あくよ おりと めくまと ちゑと あらぢと あらぢと あらぢと  
ひひ えおぶと おおび おわれの ひくひすと つうせと あらぢと あらぢと  
<sup>11</sup> また えおぶと、あんの すぐの ちよ おまん おこりと ねあひ  
ある くまーと あり、ひねの せんぞ さすへりと あらぢと えお  
りき。<sup>12</sup> やこぶ えおぶと よ こくめり ある ことを まくと あらぢと  
りき。

トのせふをうちをつうせり。 13 ふとめよおとびをよせおきゆう  
 がりどもよおとれ、めりよせおのあふぞくもろよおとれり。  
 14 つりよよせありひつりよーとそのちくやとおとすぐとのあふ  
 くりあらとうどかんをよびり。 15 のくそをやとおえおふとよくぐり、  
 われも已れとのせふぞくちのゆーとよおりておせり。 16 のち  
 おけむよおとれ、あぶらはむぐゆねをゆりておけむよおるへもるの  
 おどもよりめりおまーとどうのもうよわうむとれり。  
 17 のみのあぶらはむよつけさあひーとどうのやくまくのとき  
 ちらげきけねば 18 よせおをあくさるえおふとのわうのこくおこう  
 あくよたをあゑてえおふとよおろくあれり。 19 そのこくあゆ  
 ちとゆれと已れとのあふぞくをあーとひせふぞくちをむごく  
 せり。されそのをふあおどものりきざらやうめれどよこれを  
 すくせんぐくめあり。 20 ときよもうせもおれそりとうきもーく  
 ありけみうみのあひどちのりくよそくそくとれり。 21 めれ  
 すくとれーときせろのむすめこれとひうひあけおわれのあと

## 一そそぎ入り。

22 もうせことどくとくえおふとびとのがくふんをーへじれてこと  
 とくせざとよおのそひりぐり。 23 とーあだうよおよびーとま  
 そのきやうどいあるいたうえるのあふんをめくらうのこくろ  
 ねくれり。 24 さてもうせめれとのうちのひよりぢむりをせんるう  
 をうてこれとあまりゆのむりとうくらゆのよゆめむりえおふと  
 びととうちとあがむくめり。 25 もうせんそのてよよりと  
 かみのめれとをすくひくあもんことをそのきやうぐのじゆ  
 さとるあとふとおあぐり。されどのれとさとじぎりき。 26 つぎの  
 ひめれとのうちよあひくくらふのありければもうせこれよ  
 あとそれとやもとげりひけみ、ひとびとよ、あんがくら  
 がりあり、あんぞくめりよあがむおこまくわや。 27 そのとめくらよ  
 ふがむとあすゆのめれをあせざといひけみ、されりあんがむ  
 ふとくとくれどのつうさきがくらふとあせり。 28 あんがくまのふ  
 えおふとびととくうせーじとくくよれどくろきふとすみ。 29 もうせ

このことをとおるのぐれをみでんのちよ さびとあり、  
のへとよおりてあらりのむすをとめり。<sup>30</sup> すゞよ あとうねん  
すぎて てゐの つうひ志あいさんのもよおりて せうがくの もゆる  
もの わのをのうちみて もうせよ あともれり。<sup>31</sup> もうせ そそその  
ミー とその ことと あゆーと これと・ まとめんとて ちうより  
けねば かみの こゑあり、 りとく、 <sup>32</sup> これへ あんぢのせんぞどゆの  
あまするもあがはむ、 いさく、 やごぶのかみありと。 こゑよおりて  
もうせ ねのうきあくと まとめざりき。<sup>33</sup> かみめれよ ひゆけるい、  
あんぢのあーの さうりと ぬけ、 あんぢの くら とそそへ さより  
ちあねば あり。<sup>34</sup> これえおぶと ある さうだまが あんぢと まとめ  
めり その あけさと さくと これと すみのり ながさん さめよ くら  
れり。 うき おなれ、 これ あんぢを えおぶとよ つうをまんと。<sup>35</sup> それ  
われとく こをまと、 くわく あんぢを まくと つうを まほまかふと  
あせーやと うひー とその その もうせを かまひせうがくの うち  
みて あともれり つうひの てよ おり つうひ まほひととくーと

つうひー と あくひ。 <sup>36</sup> この ひと あとう ねんの あひよ えおぶと、  
あうめいねるび およ おりと あーぎの 口せと あくーと ねくまくと  
たまと ひきありがめり。

<sup>37</sup> ひじりえきの あをなよ つけと、 かと あんぢとの きやうがりの  
うちより されよ かうらひどりの あげふーやと あんぢとの さめよ  
おこーと あをなと うひー ものへ この もうせあり。<sup>38</sup> のれへ お  
ありありよ せり、 あいざんよ おりと おのれよ のうり てゐの  
つうひ および なれとの せんぞくらと とくよ ありめり これとよ  
あくへん さめよ りのちの みことを うけー もの あり。<sup>39</sup> これ  
との せんぞくら なれよ および ことと こねをす。 かへりと  
これや ありだけ その こくうへ えおぶとよ めくじと うりーと  
<sup>40</sup> あらんよ りひけく、 なれとの せんぞく ゆく べき かみと なれとの  
こあよ つうれよ。 そく なれと えおぶとの ちより ひきる うがー  
うの もうせんりうよ ありーと これと あともれり あり。 なその  
こう めれよ あまーの ぞうと つうひ こねよ うけ かくと さくげそ

おのれのでのひきをよみとせり。42 これよりてかまひますに  
めれども てんの じるせりと あらはよ あうせ さきへり。これ  
よけふーやの あきよ あらはれをもぐさとー、りもく、いせふえの  
りくよ、あんぢとへ あとうねるの あひと はよおりて あらひする  
あくと そあく もれを されよ さしけーや。43 あんぢとへ もろくの  
あくやと あんぢの かとれんの わーすをも あんぢとへ  
まうる あめよ つづりする ぞうと あけり。この ゆゑよ されあんぢ  
とをばびろんの むうかよ うくまんと。

44 かまの もうせよ のきりと、あんぢき 三一と そろの ひあくまよ  
あくまくと あくやと つくる ブーと めりせー だとく つづりする  
あくうとの あくや およ ありと こねの せんぞうちよ あり。  
45 のれと その あくやと うけされば よあうあと とゆよ これと  
うげきくそりとんの くあくいれり。かまひ だびての とせよ りくら  
あそその ひとふと せれとの せんぞうちの あくあり わひ りくー  
くあくり。46 だびて かまの あくよめくまと えと やこおの かまの

47 あめよ す ああと あうけん ことと もとめり。47 つひよ そろもん かまの  
くめよ いへと くそくり。48 あうし あぐと ものと も さうき ものと  
てすそ つくねる ひくよ すと くそく。49 ふげふーやの ひくよ  
ぎとー、すあそち かまきりひ くそく、てんへ こだ ざする くそく  
あり、ちん こだ あーぐり あり。あんぢと こだ あめよ ひくよ  
りくと くそく。こだ やすむと そくへ ひくと あくや。50 すべそ  
これとの わせへ こだ ての つくる ところよ あくや。  
51 つよき うび ありゆり こまうと みくと よ あうれいと うけざる  
あるよ、あんぢとへ つねよ きまき みくよ まくとふ、あんぢとの  
せんぞうちの あせーと ごとく あんぢとへ やく あすあり。52 あんぢ  
との せんぞうちの ひげれの あけふーやを うせめざりし。のれとへ  
かまへ ひのき くそく ことと あけふせー ものと も くそくせり。  
あんぢとへ ひそその ひだーき ものと うしきりめり あく こだ とくう  
くする ものと あれり。53 あんぢとへ てんの つうひの つくよ よりそ  
おまくと うけられども これと あくじざりき。

<sup>54</sup> めれとこのこととをきくとこもうとさーとあされ、さておはよ  
もうひとをだせり。<sup>55</sup> あらゆるめれはまかみ みくすよ みく  
されでんとあふきめととめかみのえりうとあすげかみの  
えぎよ ふくらととそりひけり。<sup>56</sup> みよ、これでんひとけと  
かみのえぎよふくらめのむすあのまくと見る。<sup>57</sup> こくよめりと  
めれとおわざとよすをとり みくとあき こくとあもせて  
めれのゆとよもせあり、<sup>58</sup> これとあちよりおひりよーりと  
あはてこれをうけり。あらうとあらどもおのれのうをぎとさうろ  
とりへるひとき ゆの あしゅとよあげけおけり。<sup>59</sup> めれとだ  
りとあはてさてせんとうべるときめれりめりと、きくあすよ、  
こだげ こだげのうけとあくとりへり。<sup>60</sup> めりひざあげきとおわ  
ざとよをもりりひけり、きくよ、そのつとめれとよおも  
じゆるあられ。めくりひをもりとねむりよつけり。さうろめれの  
こうきれいこととよーとせり。

## 第六章

このときあるさむよあるきやうくきりとおわのよせむる

こと おこりて おーやまうの わくら みあ ゆだやと さまりあのおちよ  
ちとくねり。おふん あるひとびと さてせんと めき いづ  
もうよ おさめと めれが さめよ おわひ あるあけキと あせり。  
<sup>3</sup> さうろん きやうくきりと あじー いへりくよりり そとく おんあと  
ひき いきして これと うやよ きくせり。<sup>4</sup> さて ちとくねる  
ものどもひ おはかよゆきて みととをとのべり。<sup>5</sup> おほほ さまりあのお  
うちよ くうりて きりすとの ことと のべくらべ <sup>6</sup> おわせりのひと  
びと おほの おこあひー とくろの あくと こくと こくと  
おあじかー つまーと その いへる ことを きけり。<sup>7</sup> そん あけ  
くの あくお おわざと まけびと その とりつけらる おわくの  
ひとよりひと、ある ちうきと やむ もの、ちんば おわく いゆきれ  
うれば あり。<sup>8</sup> こくよ おりて その あちよ おわひ ある ようとび  
あります。

○ その あちよ ひとり おもんと いへるもの あり、めれ もと  
あはくと おこあひ さまりあ の たと おどろくしめと みくらと

おろひありとせー ものあり。<sup>10</sup>ひとびとせうよりだのよりくる  
まで、これかとのおろひあるちうどととあくらむひとありと  
りひそみあつゝんでこれとまけり。<sup>11</sup>われうれひそくその  
あはかよよれておどろきされしゆゑよめくつゝんでこれと  
きく一あり。<sup>12</sup>おうれどもむ里ほりわみのまうりどとおおび  
ぬすきりすとのあよつゆそきりものおとうれとのべーとき  
ひとつとこれをあんじてをとくわをんをうげめとうげり。<sup>13</sup>  
ウの志もんもあんじておげめとうげつねよむ里ほととくよ  
ありそのおとあふとくわのあよーとおろひあるあしきとみそ  
おどろきなり。

14 あるときむよをも。かーやはらままりあびとけ カミの ことなどを  
うけたりと きみて ベトカと よはねを カーくよつうをめり。 15 この  
あたり そぞりて めれとげ さくらを みくをと うけん ことと いわ  
れり。 16 そへ めねとへ おも あすの あよおひと おけめじねーのみ  
みて おもめみくあ うながす その うちの ひとりよしゆく うながせられば

あり。 17 さて そのあたりの おーや てと めれうの うへよ おき  
ければ われと まよき まよきと うけたり。 18 おもん おーや うちの  
てと ねくことより みるほど まよりと とも、 われとよ われと  
まーりまと ひひけり、 19 ひひ てと ねくと ところの もの まよ  
まよき まよきと うそる やうよ まよ まよ その ちうどと あくよ。  
べてろ われよ ひひ けり、 あんぢの わねん あんぢと ともよ  
わうぶ べー・ あんぢのねと ものと かみの まよめと えふと ねむ  
んべ あり。 20 あんぢら こね こねよ ねりと こらちあく、 あうぢり  
あー・ そん あんぢの こまわ かみの まくよ まくよ うじす。 22 ゆゑよ  
あんぢの こね あーま ことと うひ あうぢめと まよよ ひひれ、  
あんぢの こまわの ねむひ あるひひ ゆゑよ ねえ。 23 され あんぢら  
りの ねがまよ せり ある あくの あをめよ まよと まよ。 24 おもん  
こまわ そりひけり、 あんぢうげ やうり こまわの こじへ あわゆ  
まよよ ねまをやる やう あんぢうげ やう やうよ まよよ いのれ。  
25 われと まよの ことをと あまうこまわと あく、 わく まよあ

おうくの もじよさうじもの おとげれど のぐつおおきむよ  
むうちて 四へれり。<sup>26</sup> かみのつうひ 錦里ほよつけとりひけん、  
うちを まみの めくよ むうちあることをむより せよくするところ  
の みちよ ゆけ。 そぞれは あり。<sup>27</sup> さて 锦里ほうちて ゆき  
けれど、 みよ、 えて おびあの えふとん、 すあをちえて おびあびとの  
かみをうせんだけのだいへふして その すべの うとうと つうき  
どる ゆの おぐみの さゑあることをむよの 犬り、 <sup>28</sup> りすめくるとき  
くみの うちよ さーと あげんしや あさやの ふみと まも あくり  
しげ <sup>29</sup> みくす 锦里ほよりひけん、 あんぢちうありて この うる  
およ つけ。<sup>30</sup> 锦里ほそりゆき えふとんぐ あげんしや あさやの  
ふみと まもと まもと こねよりひけん、 あんぢよむ ところの  
ことと まとるや。<sup>31</sup> めれりひけん、 これと まちびく もの あと  
金ふべりうで これと まとることと まもや。 つうよ 锦里ほよ こひ  
の 犬りと とよよざくめり。<sup>32</sup> その まきをりーセりをもすの あんぢ  
られあり、 めれりわかるためよひくらる ひうどの ごとくひうれ、

あく あむのどの その けと まら ゆめく あくよ りおりて こゑを  
りうきめぐ だとく その うとひくす。<sup>33</sup> めれりゆーきよ まう  
とく うとひく まがまかと うをくねへり。 まねう その ちすぢとの ぶ  
えぬや。 その いのちん とくれど おより もあれうねば あり。<sup>34</sup> まん  
どん どくほよ むうちひそりひけるい、 あげんしやん うれと まとて  
これと ひくしや、 まぐうと まめしや、 わうの ひとと まとし、  
ねぐをくへ 口れよ あめせ。<sup>35</sup> 锦里ほつりよ うとひく ひくま こ  
せうあよの こととひくと あすの おとげれと うれよ あくへり。  
どんりひけくよ、 みよ、 まぐあり、 これあげめと まくまよ あんの  
まくまけあくよ。<sup>37</sup> つりよめひくと まくまと とくめしめ、 <sup>38</sup> 锦里  
ほと あんじんとの あくり とよよ まぐよ うたりと まくま うれと  
あげめり。<sup>39</sup> めれト まぐより あぐりけねば かみのみくす 錦里ほ  
ひきさる。 あんじん わはや めれと まることと えす、 まくま あうと  
びて その うちと ゆけり。<sup>40</sup> されど 锦里ほへ あおどよ まくま。

われすべくわ まちむとと とあり さりそひの わと ぐれを のびて  
せいきりあより くれり。

## 第六章

さうろへ あや まみの でしとめを おどー ある これと こう  
さうふとの こととを まさ、さりしの をまよ ゆかて 2 だまきこの もろ  
もろの くきのどくよ ねくる そへ がみと むとめくり。 そへ ぐれ  
ゆく この まちよ おもぐふ ものよ あもべ、をとこ あみよ、 そん  
あみも これと おもくと ある きむよ ひうらぐ くめ あり。 3 ぐれ  
ゆく とまきだせ こよ ちうげき けれど さも まち てん より ひうり  
ありて ぐれと めぐり てくせり。 4 ぐれ つりよ ちよ くあれて、  
さうろ、さうろ、あんぞ ぐれと セむるやと りくろ こゑと まけり。  
5 ぐれ つか けくら、まみよ、ああうら ぐれぞや。 こうくと ひひ  
けくら、これへ あんぢう せむる とくろの あす あり。 6 あんぢ  
くらと まちよ ゆけ、あんぢう あす べき ことを あめくら べ。 7  
7 ぐれと ともよ ゆき ひとびと おれりよ こと あくを せーと くも  
をりしげ その こゑと まけじゅ ひとと まぎり。 8 さて・さうろち

あり おまそと その めん ひくまくよ あゆよ みくぎり けれど ぐれと  
その てととり ひまそと だまきこ りれり。 9 ぐれ 三けうの あひと  
まくす、あく くみのと せぎりま。

10 だまきこよ ああにあと つくる ひどりの でし あり。 まとも まがう  
1 よ おりと ぐれよ ひけくら、ああにあよ。 まくして ひけくら、  
2 よ まくと、これ まくよ あり。 11 まみの ひひ まくひけくら、あんぢ  
3 まくと まくすと ひふと とありよ ゆき ゆだの ひくよと たる そ  
ひと まくろと ひくよ ものと くじくねよ。 12 まよ、 ぐれん ひりのり きる、  
4 ぐれ 「あがうよ わりそ」 ああにあと つくる ひと きくと ぐれよ  
5 まよと えせしめ なぐ くめよ てと その うへよ ねくと まくす。  
6 ああにあ こうく けくら、まみよ、 ぐれ その ひとよ つひと ねくくの  
7 ものと まくねくと まくよ ぐれ あ くめよ てと ある まくす  
8 ものと まくすと くろ くろと ひくを うりぞや。 14 こうよ あり くふ  
9 ぐれす すべと みあと あぶ ものと おもと うら くめよ だり くり  
10 ゆり うけ くろ けふ あを くめり。 15 されど まみの ひひ まくひけくら、

ゆけ、<sup>16</sup> めれへりとん、<sup>17</sup> こくくわおとびいたるのよそひの  
あくよこぐあとあぐるくめよこれのえとびくるうぐへあり。  
めれへこぐあのくめよりうむうりのくふくみとくくべきうを  
されめれよおめきんとす。

17 ああにあゆきとそのりくよりてとめれのうくよおきをりひ  
けめん、まやうどりさうるよ、あんちのまくわれるまくわるとある  
ぢよあくもれーとくらのまくあるゑすあんぢげまることとと、  
めりまくまくまくまくまくわねんぐくめよらねとつうそーくあ  
くり。 18 さうじよううくものごときめれそのめよりおちーうば  
めれまくこととととまくわねんぐくめよらねとうけり。 19 のちあよくして  
ちらとびきすとらだまをこのでーくらととめよをり、 20 つりよ  
くきりどくよおりてゑすのことすあをちめれかみのむすあ  
あることとのびうり。 21 まくものまくおどくまくわねんぐくめ  
これあるまくむよおりてこのあとよぶゆのどもとあくせーひとよ  
あくすや、めりこくよまくまくまくそのとめぐととををりてだり

きりーじゆよひくえくめよあくすや。 22 めくとさうるんまくすあす  
ちうとうぎま、このゑすくまくすとありとあくととあくとだまをこよ  
をるゆだやびととりひあせうり。

23 おろくのひととこのちゆだやびとさうるとこうきんとまう  
りーぐそのもくりぐとめれよあれうり。 24 めれとこれをこう  
さるとしてあるひるあらのゆゑとううどひをれり。 25 こくよおりて  
でーくらするめれとめらよりれてりーぐよりつりおうせり。  
26 さうるんすとよあるまくむよりうりとでーくらよあどもとふと  
せーよとあめれぐでーとありーとあくせーとこれとねそね  
くり。 27 まくばるあばこれとうけちーくらよつれゆまくと、めれぐ  
まくまくとまくとまくとあくまくのめれよめくらーことおよび  
めれぐだまたこよてとくらよとくらよゑすのあよおりてのびーことを  
つけうり。 28 さうるあるまくむよとくらよりでーくらとゆきくー、  
29 あくまくのあよおりてとくらよのぐつまくめりあめ  
ゆだやびとくらよりうるせり。 こくよおとめれとこれとこう

さふんと もうる。<sup>30</sup> されど まかうぐりくら これを さとり めれを  
せいざりあまでつれくぐりてたるそよゆう一あり。<sup>31</sup> めくと ああ  
ねくゆだやと がくらひときまりあよある まかうくらひおなやう  
おしてありくち、まかと おそれそ あゆく、めくまかみくの  
あぐきめよありて りやあせり。

<sup>32</sup> べてろちまほくせめぐらと見るだよをるまかみく もとよ  
りうり、<sup>33</sup> めーくすて びどりの ちうきを やまと まちねんの あひど  
とくよつけらとくらの あいねあとりくら ものと まくら。<sup>34</sup> べてろ  
これよ、あいねあよ、あすきりすと あんぢとりやーくすふ。おまて  
ねどくとおきめあとりひくらば めれまくらは おまくら。<sup>35</sup> るだと  
あやろんよ すめる ものと これと まくまよつけり。<sup>36</sup> よをよ  
を ふみの でーあり、あと たびたと りふ、これと とけび ざるめせ  
(すあそちりどり) あり。めれんよ まことく わどくーと おわひよ  
あせー もの あるゲ <sup>37</sup> その ころ やすひよ めくりて あくらうば  
これと あよりと あくらよ おけり。<sup>38</sup> るだに よをよ ちうく あり

けくらでーうち べてろの めーくよをることと まーこれよ あく  
りの ひとと つうをーと、その まくらることと ひまどる あうれと  
こひ もとめり。<sup>39</sup> べてろまくらと とくよゆき すぐよりくり  
けれど これと あくらよ つれぬけり。ゆうゆうの やもめ べてろの  
めくもくよ まくらと あきつゝ せるかせぐ めれと とくよをると まよ  
つうりーと とくの うをぎ あくらぎと あれよ まくらり。<sup>40</sup> べてろ めれ  
と ことくと そとより ひぎあくらをりおりを あー、その  
あうをねよ むうひと、たびた、ねまくと じくら。めれ つゆよめを  
ひとまくと べてろと まおまを させり。<sup>41</sup> さて べてろ と の びて  
めれと ねくー まくま めの ども おとび やもめくちと よびて その  
りまくらと まくらり。<sup>42</sup> このこと よを びくよ あれくらば おわくの  
ひとびと まくらと あくらせり。<sup>43</sup> べてろに ひくーくよをよ とどおりそ  
めもあめー おもんの じくよ をれり。

## 第十章

せいざりあよいたまあくらと とあくら まくらの まくらやう  
まくら こるねとおと あくら ひと あり。めれら まくらうと ともよ

おがくろとをす ものみを かまく うやまひ たまよ おがくの 行と  
こととあへめりつねよ かみよりのれり。 <sup>3</sup> われどりくじら ごろ  
おがくろよ おりて かみの つうひの われよ きなりて、 ごるねり おふと  
りくろと あきらむよ みすり。 <sup>4</sup> ごるねり おこれよめと とめて おそれ  
りひけらん、 きみよ、 あめどと あめや。 つうひ ひけらん、 ある  
がの ひめりと わどくへ かみの あくよ こりて おがくとる。  
りゆうひとと よをよ つうもとて べてろと りくらの おもんと よぐ。  
わねらの みを あめー おもんの うちよ やどれり。 その うく うみ  
ぶよ ありと。 <sup>7</sup> ごるねり およ わくらりと。 つうひ さりくらば わね  
その うくの あめぐ ふくらりと そを うくの あめぐる ある つり  
そら ひとりと よび。 <sup>8</sup> わねとよ この ことと うもくつばて これと  
よをよ つうをせり。

9 われとゆきとつぎのひあらはもうびまーとすくねあそぶ  
ろくどきありしへそのときべてかりのるさめよりくのうぐよ  
のがれり。 10 われもあらううきをかみくせんことわのせーぐ

ひとともうくわうとそあらるうちよかれまとうへりひまがうへよ  
おりと 11 てんひじけめりおわひあるゑあゆめ、じときうるもの  
われのあくよくざまをみたり。そのうつせんよすみをむすびそ  
ちよつりおうきる。 12 うちよちのさあせのよりあーのけもれ、  
もふ もれおあびそしのとりあり。 13 やうこゑありてわれよ  
りひけり、べてろよ、おきてこれとこうとくらへ。 14 べてろりひ  
ける、かみよ、あうとす、これらりおどりつもふうとぎる  
もれとあけつのれをそそくせることあし。 15 こゑふくび  
われよりひけり、かみのかみめくわふうとくらのれをれりあるぢ  
これとまかねうとすわあられ。 16 めぐのじとせことみるび  
ありて まかねうとすわあられ。

17 ベテルそのミーとミーのまがうへんあわのこゑあんと  
うみぐみをりーときミー、ごるねりねよりつらをきれぐるもの  
あもんのりくとさうねりどーくゆるのあくまきち、  
18 よびそ、  
べてろとりくるあもんこゑよやどりうととかあるぐり。 19 ベテルお早

りよ おがうーのこととおもひをりしよみくま めれよりひけり、  
ミよ、さかなかの もの あんぢと さげぬ。 <sup>20</sup> おまと くぢり う  
ぐもすーと めれとと とゆよ ゆけ。 <sup>21</sup> めれ これを つるもーされ  
あり。 <sup>21</sup> べてろ くぢりとそのひとくまよりひけり、ミよ、あん  
ぢと さげぬと その ものへ 可れあり。 あんぢと あんのゆゑ  
ありと きくふゆ。 <sup>22</sup> めれと こくへけり、さくらやう こゑねをお  
すあそち さだーさ めら かまと うやめり、あくゆだやの くわぢう  
みを ふき あそぶあるもの あんぢと その ひくよ あねまて あんぢ  
あり ことと まけとの かまのめりを まくまく つらひよ すのと うけ  
り。 <sup>23</sup> がくと べてろ めれと すびりれと これと やどりめり。  
あくらひ べてろ めれと とゆよ ゆく、よせの ある きやうぢり  
くちゅ これと とゆよ ゆけり。 <sup>24</sup> つぎの ひめれと せいさり あより  
とき こゑねを おへ その あんるいと あがーまと とゆだりと すびり  
めと これと あち るなり。

<sup>25</sup> べてろり きくふると こゑねを おこれと むらん その あーゆとよ

ひれあーと おぐめり。 <sup>26</sup> べてろ これと おこして ひけり、まそ、  
されも ひと あり。 <sup>27</sup> やくそ とゆよ せくまり つゝ うちよ いり おな  
くの ひとびとの あく あり きくと そそ <sup>28</sup> めれと りひけり、  
ゆだやの ひとり どんと まど そり あく これよ ちうする こと くさく  
ありよ そむくと あんぢと あれり。 されど かま くね ども きくふ  
ぐる もの ふけり ある もの とりよ づくと すと これよ あめせり。  
<sup>29</sup> この ゆゑよ これ むらん じふ ゆりあや ひおどく すと きくふ。  
りよ され あんぢよ とく、 され ど むらん じふ ある の さめぞや。  
<sup>30</sup> こゑね おりひ けり、 おり あくよ され いくよ あり どり  
くぢまの いのりと あーと その あくよ いきりしよ ミよ、 め  
やける こう もと きくふ もの じぐ あくよ さまで ひけり、  
<sup>31</sup> こゑね お、 あんぢの いのり いきうれ、 あんぢの わどくーに かまの  
あくよ おがく され すり。 <sup>32</sup> りす ひととよ おつうをーと べてろと  
あぐくの おもんと あぐ、 われ うみ がの めを あめー おもんの ひくよ  
やどる。 <sup>33</sup> ゆゑよ され さくらよ ひとと あんぢよ つうを せー あり。

やくあんぐらのせんがれりや。りまかねてみまかまみのあんぐらめりせーとまのこことひとじとくきうふとくかみのまくよどるあり。

<sup>34</sup> ペトロシテヒトタヒリケル。これあくとよのまへひととくへやくせらる。ゆのよーと<sup>35</sup> だんじくくはおりくわからとくとくうやあひ

くとーかとおとあふゆのんめれよよろくをくとくとくせど。<sup>36</sup> かとナジムのゆのくきくあるゑききりすとよよりてつまふるとくうのきおくのおとげれするもちいせらるのあんぐつまへさすひーとくうのことと<sup>37</sup> よはねのせりあやうるあぐめのちがりういをもとめゆだやぢうよひうそりーことをあんぐとある。<sup>38</sup> そのこととこれあり、あれのゑすへかとよりきよみますとちうとあるあふとをそくげれ、あぐりのきてたまこととおとあひあるナジてせんかはおとくへんゆのとりやせり。そんかとめれととくよありーよある。<sup>39</sup> こねとくめれくゆだやのとちおよひあることをむとおとくひーナジムのことのあうーひと

あり。ゆだやびとめれとまよゆけとこうせーり<sup>40</sup> かとまくのうめよられをよそぐへとせ。めりあきとーうよれをあとせり。まりあぐとナジとのたまよあとせりよあとす。<sup>41</sup> くとくかみのあとうとめえトびるあうーびとナジとまのよそぐへりーのちめれととくよくのきーるきれとよあとせりーあり。<sup>42</sup> めれこれとよめりじとひとびとのうらよせりきやうきをめりりけるものとあーうるゆのくさをきよふとかとよりナジめりれーゆのんのれあることをあうーせーむ。<sup>43</sup> ナジムのよげんーゆゆめれのくあよあうーとあーてめれをあふするゆのくまそなあよよりてつまのゆるーとえんこととあめせり。

<sup>44</sup> ペトロシテのことをゆくかとよくよくまくあこねをきくとくうのナジムのゆくアリのぞめり。<sup>45</sup> ペトロシテととくよきくらうだけのゆうれりとうけたるあふとくやうじとくふるゆみくあるとくあゆれとくやうじとくとおとくきめり。そんれとうげことあるくやくぶのことをみてゆくらゆのかとをあぐ

むをきらうればあり。<sup>47</sup> そのときべてありひけり、このひと  
びとすぐよされどのひときみまをうけよされり  
えびときなとてこれもあげめをうけざへむるものあともゆ。<sup>48</sup>  
つりよゑすなりすとのあよせりてあげめをうくべきことを  
めねじよめりす。こうよおりてめねとべてあよすとりとがおとえ  
こととねぐへり。

## 第十一章

おーやうち および ゆだやぢうよ そる きやうだらうち  
りともかみのことをうけーこととさくへるなりー、<sup>49</sup> べてろ  
あるきむよの行りーときのうれりのゆわどものれをあどりて  
りひけり、あんぢんのうれりあきひとのりくよりりとこれと  
とくよあもよせーぞ。べてろこのことよつまもトメありあざ  
りよのびとひけり、<sup>50</sup> これよせのあちよありそりのるとき  
きとうーあひ あがくよおりてよすきをつりくらおあひある  
あまゆれとじときひもくのうるものてんよりくぎりとこれよ  
ちうあるとまうり。これこねよめととめきとつけてその

うちよちのよりあーのゆれ、あよき けめれ、もふゆれ および  
きとのとりあるとまうり。<sup>51</sup> めうせれま、べてろよ、おまそこうー  
くとくとひくらこゑをきまうれば。<sup>52</sup> これりくり、きまよ、あり  
トす、きよくとせらゆれとあけりあるゆれりいよだめりとひく  
くちよりりーことあーと。<sup>53</sup> こゑあくよびてんよりこれよ  
こゑへけり、かみのきまめくまふとくろのあれんあんぢ  
られをまようとすとするあれ。<sup>54</sup> めうのひときことまうびよ  
ーとすべきのゆれあるとまよひきあけとれり。

11 こゑ、そのとま めいきりあより こねよ つうをまねくる ゆれ  
さくふあんきまうりとひくをりーとくうのりくのあくよくちるうり。<sup>55</sup>  
12 みくす よりよ、うべがまよーと れれととくよゆけとめり  
せり。あうーとこのろくあんのきやうだりゆれととくよゆけと  
そのひとのりくよりれり。<sup>56</sup> めうせれとまうりてひくけり。  
ちふのつうひのひくりよまくよとまうり。そのつうひこれよ  
りくり、ひとよせへつうもーとべてろとりくらおもんをよべ、